

## 第136回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成25年10月4日(金) 13:30～16:30

場所：JR 東海品川ビルA棟会議室

出席者：委員長 北野（JR東海）  
副委員長 水野（信州大）  
委員 上田（東芝），海老原（IEEJフェロー），長谷川（鉄道総研），  
前田（シンフォニアテクノロジー），森下（工学院大），矢野（近畿大）  
協若（信州大）  
幹事 村井（JR東海）  
幹事補佐 矢島（SMC）（記） (11名)

欠席連絡（委任） 白石（三菱電機），樋口（長崎大），増澤（茨城大），  
吉桑（三菱電機），和多田（東京都市大） (5名)

### 提出資料

- 136-1 第135回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 136-2 リニアドライブ技術委員会名簿（矢島幹事補佐）
- 136-3 平成25年第1回研究調査会議議事録（案）（北野委員長）
- 136-4 電気学会東京支部連合研究会の中止について（北野委員長）
- 136-5 平成25年度リニアドライブ技術委員会活動報告（北野委員長）
- 136-6 平成26年度(H26年4月～H27年3月)活動計画（1次案）（北野委員長）
- 136-7 SEDA, LDIA, MAGLEV開催地（北野委員長）
- 136-8 リニアドライブ技術委員会貢献賞（案）（矢島幹事補佐）
- 136-9 平成26年電気学会全国大会シンポジウム（案）提案用紙（矢島幹事補佐）
- 136-10 発表論文を募集中のテーマ付研究会（長谷川委員）
- 136-11 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）
- 136-12 部門大会シンポジウム開催報告（長谷川委員）
- 136-13 リニアモータ・磁気浮上の25年（海老原委員）
- 136-14 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会中間報告まとめ（上田委員）
- 136-15 山田一先生をしのぶ会について（矢島幹事補佐）
- 136-16 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）
- 136-17 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（矢島幹事補佐）
- 136-18 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会（MLV）活動報告（長谷川委員）
- 136-19 第9回産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 136-20 第9回多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会議事録（上田委員）
- 136-21 第11回環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会議事録（案）（長谷川委員）

### 議事

#### 1. 議事録確認

第135回委員会の議事録（資料136-1）が承認された。新設する調査専門委員会の設置趣意書はメール審議の後、12月5日に開催される運営委員会に提出することが確認された。

#### 2. 報告事項

2.1 資料136-2を基に、LD技委の名簿が確認された。変更は特になし。

2.2 資料136-3を基に、北野委員長から6月26日に開催されたH25年度第1回研究調査会議について説明がされた。特記事項を下記に示す。

- (1) 技術委員会活動方針において、研究会・シンポジウム・産業応用フォーラムの開催と技術報告の出版の年間総数を6以上となることを目指す（合同研究会は0.5）
- (2) 調査専門委員会の正員比率は、新設時に0.5を下回らない。2期目（解散報告書の今後の課題に記載された後続の委員会）は0.8以上とする。
- (3) 委員会開催時のお茶代は、コーヒー等の飲物の出前は禁止。
- (4) 著作権認許取得作業の低減について検討されているが、これといった手がない。

2.3 資料136-4を基に、北野委員長から、電気学会東京支部連合研究会の中止が連絡された。

- 2.4 資料 136-10 を基に、長谷川委員から、12 月 6・7 日に開催される LD 研究会 (MD と合同) について案内があり、発表申し込みの依頼があった。申込締切は 10 月 10 日。
- 2.5 資料 136-12 を基に、長谷川委員から、8 月 30 日に山口大学で開催された電気学会部門大会シンポジウム「S11 環境調和型磁気支持応用技術の現状」について開催報告があった。
- 2.6 資料 136-13 を基に、海老原委員から、電気学会誌平成 25 年 10 月号に掲載された特集「リニアモータ・磁気浮上の 25 年」が提出された。
- 2.7 資料 136-14 を基に、上田委員から、10 月 7・8 日に開催される LD 研究会で発表する MDD 委の中間報告が説明された。油圧モータと磁気モータのトルク密度の比較について多くの意見が交換された。
- 2.8 資料 136-15 を基に、矢島幹事補佐から、9 月 1 日に山田一先生 (信州大学名誉教授) が亡くなられたと説明があり、その「しのぶ会」が 10 月 4 日に開催されると案内があった。

### 3. 審議事項

- 3.1 資料 136-5 を基に、北野委員長から、H25 年度リニアドライブ技術委員会活動報告が説明された。7 月に杭州で開催された LDIA2013 について実施報告を何らかの形ですることになった (鳥居幹事、大崎先生に相談)。また、電気学会のニュースレターに載るようにしたほうがよいという意見があった。
- 3.2 資料 136-6 を基に、北野委員長から、H26 年度の活動計画が説明された。研究会・シンポジウムの担当が以下のように確認された。また、新設される調査専門委員会の担当で LD 研を 1 回追加する可能性あり。
  - (1) LD 研 6 月 MEL 委担当 (MAG 合同, 長野)
  - (2) LD 研 8 月 LD 技委担当 (鳥居幹事) (RM・HCA 合同)
  - (3) LD 研 11 or 12 月 MLV 委担当 (MAG・MD と 3 会合同を検討, 金沢?)
  - (4) LD 研 1 月 MDD 委担当
  - (5) D 部門大会シンポジウム MDD 委 (8 月, 北千住)
  - (6) 産業応用フォーラム MLV 委
- 3.3 資料 136-7 を基に、SEDA27 (2015 年) および LDIA2017 の実行委員長・開催地について検討された。SEDA27 は樋口先生 (長崎), LDIA2017 は平田先生 (関西) を第一候補として依頼することが決まった。
- 3.4 資料 136-8 を基に、矢島幹事補佐から全国大会 (愛媛大) のシンポジウムで発表する方に授与するリニアドライブ技術委員会貢献賞について説明された。これは活性化の一環であり、このようなものはよいと承認された。ただし、「賞」であれば実績になるので「感謝状」よりよいが、電気学会の賞与規定などがあるので「賞」をだしてよいか北野委員長が運営委員会に確認する。今後の委員会で内容を詰めていくことになった。
- 3.5 資料 136-9 を基に、矢島幹事補佐から全国大会 (愛媛大) のシンポジウムに提案する「リニアドライブ技術および応用事例紹介～企業におけるリニアモータ開発動向～」について説明された。企業から 11 件 (1 件未定) の発表を行い、本案で 10 月 2 日に D 部門運営委員長に提出済み。発表題目について、本シンポジウムの趣旨から企業名や製品名などを入れて良い (むしろ企業名や製品名を出すべき) という意見があった。シンフォニアテクノロジーで発表をご検討いただく。
- 3.6 資料 136-11 を基に、リニアドライブ技術関連カレンダーについて確認された。国際会議等の追加があった (LD 技委共用 web にアップ予定)。12 月 6 日の LD 技委は LD 研究会と重なってしまうが、委員の都合がつかないため予定通り 12 月 6 日に LD 技委を開催する。

### 4. 各調査専門委員会活動報告

資料 136-16～資料 136-21 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

次回開催予定：12 月 6 日 (金) JR 東海品川ビル

以上